

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表日: 令和6年2月29日

事業所名 まんてん都島毛馬教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--------------------------------|--|----|-----|-------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | ガイドラインに定められた範囲内または対処方法をとっております。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | ガイドラインに定められた範囲内または対処方法をとっております。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | | バリアフリー化配慮の構造になっている |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | | 職員ミーティングなどで意見交換や情報の共有をしている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | アンケート等のご意見を真摯に受け止め気づきから改善に努める |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | 評価表の集計を全保護者に配付すると共にWebで公開しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | | 第三者機関による外部評価は行っている |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | 外部の研修及び講習には積極的に参加している |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 児童と保護者様のニーズを確認し個別支援計画を作成している |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | | 契約時に基本情報という様式にてお子様の初期状況の情報提供をいただいている |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | ミーティングなどで職員と立案し共有している |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | ミーティングなどで職員や児童の希望を取り組み実施している |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | ミーティングなどで職員と立案し共有している |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 個別と集団の活動時の課題の両方の視点から個別支援計画を作成し職員間で共有している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | 日々のミーティングで確認している |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | 日々のミーティングで確認している |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | 日々記録をして職員間で共有している |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 定期的にモニタリングを行い見直しを実施している |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | ○ | | | 複数の組み合わせの支援を行っている | |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表日: 令和6年2月29日

事業所名 まんてん都島毛馬教室

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|---------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 参画している |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | ご家族様や学校から情報を頂いている |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | | 現在該当者はおりませんが、児童の主治医(又はかかりつけ医療機関)を把握し緊急時に備えています。 |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | 情報を共有している |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | 現在該当者はおりませんが、現時点では情報収集にあたっている |
| | 25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | 実施している |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | | 障がいのないお子様の交流を積極的に実施することが望ましいが、コロナ渦の中控えさせてもらっている |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | 参加している |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 共通理解している |
| 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | | 問題があれば行っていきます | |
| 保護者への説明責任等 | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 見学时及び契約時に説明している |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 随時、子育てや障がいについてのお悩みやご相談に応じています |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | | 随時、行っていきます |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 苦情があれば迅速に対応しています |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 利用予定表にて行事予定を掲載しています |
| | 35 個人情報に十分注意している | ○ | | | 個人情報の取り扱いには十分注意している |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表日：令和6年2月29日

事業所名 まんてん都島毛馬教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---------|---------------------------------------|
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 配慮している |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | | 今後、検討していきます |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | マニュアルを配置しているが、保護者様への周知が薄いので今後徹底していきます |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 定期的に行っている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | ミーティングや外部の研修に参加している |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | 「身体拘束について」の専門性の向上に努める |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | アレルギーの情報を職員間で共有している |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | 職員間で情報を共有している |